

小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	野尻小校区	担 当 班	議員名	担当
参加人数	19人		大浦 竹光	司会進行
開催日	平成28年7月19日(火)		◎蔵本 茂弘	活動報告(総務文教)
開催時間	午後7時～午後8時30分		海老原 幹朗	(経済産業)
会場	野尻庁舎大会議室		高野 良文	(市民厚生)
その他			穴見 嘉宏	(広報広聴)
			穴見 嘉宏	記録・報告書作成

◎班代表者

意見交換会の内容		※□市民の意見 ■議員の意見
統一テーマ	<p style="text-align: center;">「より豊かな市民生活の向上を目指して」</p> <p style="text-align: center;">～住民自治に根ざしたきずな協働体について～</p> <p style="text-align: center;">～人口維持対策(雇用対策)について～</p> <p style="text-align: center;">～子育て・少子化対策について～</p>	
【意見交換の概要】		
<p>□若い人が産婦人科のことを心配している。市長は選挙の時は実現しますと言っておられたが駄目なのか。もう一人の候補者の方も実現できるような話をされていた。議会がこの方からどんな方法があるのかを聞いて、市長に伝えてもらえば医師不足も解消するのではないか。産婦人科とか小児科とかどうなのか。難しいのか。率直に言ってほしい。</p> <p>■いま小児科は週1回と第2・4火曜日及び土日祝日は月2～3回診療が行われているが、特に夜間の診療に都城まで行かなければならないということについては、先だって市民厚生委員会が行った意見交換会の場で強い追及を受けた。議会としても責任を感じ申し訳なく思っている。産婦人科については、宮大医学部から何とかしたいとのことであったが、2名体制でないと派遣できないということで実現していない。今後とも議会としても努力していく。</p> <p>□医師は、研究や技術の向上を目指してどうしても都市部に集まる。地方でも十分な研究費や報酬を保証できるように国がやらないとできない。小手先ではうまくいかないから国に要求していくべきだ。</p> <p>■県の周産期医療の計画では、県内を3つに分け西諸医療圏は都城市を中心とする周産期医療圏に組み込むことになっているが、議会は市長とともに反対をしている。市長が医師確保についてどう行動したか議会はチェックしている。地域医療を考える会を中心に医師が来やすい環境づくりに努めているが、議会、市長、市民みんなで協力して努力していかなければならないと思う。</p> <p>□地域で一番重要な高齢者問題がどこにも出てこないのはなぜか。介護難民、介護離職、思った仕事に就けないなどの介護の問題がある。この地域では豊かな市民生活は高齢者問</p>		

題が片付かない限り達成できないと思うが。

■経済産業委員会では、人口維持対策を政策討論会のテーマとしている。農業が基幹産業であることから、10年後の農家の各分野別の年齢構成や人口など独自で調べ、農業振興課、畜産課に人口維持対策は高齢化問題と後継者問題の分析、研究、対策にあるということを示し投げかけている。

□雇用や所得を上げることが決め手になる。そのためには、金の生る木を見つけないといけない。マンゴーでも反当1,000万円は上がり350万円から400万円がいいところだ。山林が人手不足で放置されているところが多くあるが、その山の広葉樹を使ってキノコの生産を計画している。中国で作っていた会社が大气汚染などあり引き揚げにかかっている。一反分当り1億1,000万円の収入があるとの試算がある。高齢者・障がい者も従事することができる。こういう金の生る木を見つけ出す努力が足りないのではないか。

■貴重な意見をいただいた。今後、議論していく。

自由意見の交換

※□市民の意見 ■議員の意見

□チョウザメは何年養ったのが何頭死んだのか。また、損害額はいくらだったのか。

■三年目のチョウザメが全頭死んだ。平成26年6月議会において「慎重かつ的確な運営に向けて、十分な配慮を尽くすべき」との意見を付し、また、平成27年9月議会においても「養殖業者への指導の徹底と、最低でも年1回、議会への報告」を申し添えていたにもかかわらず、このような事態を招いたことは遺憾であるということで、先の6月議会において、議会の意見が全く生かされていないことから、議会への報告が事故発生から2か月後であったことも含め、議会軽視であるとしか言えないとして、改善策を付した意見書を提出した。

損害額は、稚魚代、餌代、電気代などで50万円強とのことであった。

□中心市街地の件だが、街が移動しているのに駅前の開発とはどういうことかという話をよく聞く。今になってテナントの入居者がいないと聞いている。調査は十分だったのか。計画を進める上ではいろんな話を聞いて進めなければならないのではないか。

■小林市の顔は小林駅を中心とした中心市街地であるということで、駅と江南跡地の再開発で人の流れを作りたいということである。小林まちづくり株式会社が行ったアンケートの結果では、スーパーマーケットがほしいとのことだったようだ。小林まちづくり株式会社の人たちも、通産省の補助金1億円が認められなかったが、それがなくてもどうしても自分たちでやらなければならないという覚悟をもって一生懸命やっておられる。

□てなんと小林総合戦略と議会の政策討論会のテーマが同じなのはどうしてか。

■テーマを絞って議会全体の意見をまとめ市政に積極的にかかわっていくということを目指して、政策討論会で議論をしていこうということである。

□農業委員の4区の推薦に当たっては、経歴や実績、人柄を考慮しいろんな人と話し合

った末、自信をもって行ったが、はなみずきの3月号によれば、一部の議員さんがこの人ではだめだといわれている。何が悪くて反対だったのか伺いたい。みんな憤慨している。地域の私たちが推薦した人ではだめだ、野尻の人はだめだということだ。こういうことは議会はみんなよく話し合い全会一致でお願いしたい。

■今回、選挙制から任命制になり、地域間のバランスが悪いとのことであった。

□観光についての話が全くなかった。今日は、農業の振興が大切で農業以外は駄目だといわれているように聞いた。将来のことを考えて観光面や企業誘致をあきらめずに取り組んでほしい。そうでなければ小林市に夢はない。高速道路のサービスエリアに寄って見た。各地の産物があったが小林のものはなかった。陰陽石・三之宮峡にも行ってきたが草ぼうぼうだった。あれでは人は来ない。私は、7年前に小林市に来た。小林市は観光も十分成り立つ。素晴らしい自然は宝である。自信をもって進めていただきたい。

■観光政策参与を任命し、観光DMOを立ち上げるべく今頑張っている。陰陽石・三之宮経については、きりしま絶景ウォークを開催し2,000人を超える参加者があった。企業誘致については、担当職員がいるがなかなか十分な対応できていない。今後は、観光政策参与の手も借りて進めていくようである。小林市を見に来たいという話も来ているようである。決して観光や企業誘致を置き去りにしているわけではないのでご理解をいただきたい。

議会活動報告への意見

※市民の意見 ■議員の意見

□一般質問の時間は、県議会は1時間となっていて時間通りに進むが、市議会は議員の質問時間は30分だが、答弁の時間や1時間ごとに10分間の休憩もあるため長かったり短かったりで困っている。また、議論が中途半端になり気持ちがそがれ挫折してしまう。議会運営委員会では、このようなことについては話し合われていないのか。委員会もネット配信してもらおうと、もっと議会が盛り上がるのではないか。

■傍聴に来られる方からも正確な時間が知りたいとの意見を伺っている。議会運営委員会では、質問、答弁合わせて1時間なり1時間半なりにしたらどうかなど、議論をしているがまだ結論は出ていない。もう少し時間をいただきたい。10分間の休憩に関してはトイレ休憩のことも考えなくてはいけない。ただ、1時間を過ぎてもあと2、3分というときには議長判断で続けるということをお願いしている。